



# 2010年度 田舎で働き隊！

活動結果報告

(活動期間2011年1月23日～3月8日)

受入団体：NPO法人 農と人とくらし研究センター

藤岡 潤

# 山羊 (ヤギ)

- 飼養管理  
(毎日の夕方の餌やり)



## エサ

牧草、稲わら、桑の葉、りんご等

## ヤギの名前(三沢区で飼っているのです)

みさちゃん(♀) 2歳弱

さわちゃん(♀) 2歳弱

今年の1月1日と11日にそれぞれ種付けしたので5月の終わりから6月ごろに子ヤギが生まれるのではないのでしょうか。



# 山 羊 (ヤギ)

## ● 研修①

まいん農園

(<http://www.lcv.ne.jp/~mine4141/>)

代表 小林峰一さん



ヤギ乳のプリン

研修日： 2011年2月10日

場所： 長野県諏訪郡原村

## 講師プロフィール

有機農業の実践家

不耕起、無農薬、無化学肥料

## 講義内容

ヤギの飼養方法

農業の意義について

講義を受けた小林さんの自宅は小林さん自身が立てたログハウスでした。

井戸も自前で掘り、バイオガス液肥を生成・利用しています。

# 山 羊 (ヤギ)

## ● 研修② (独)家畜改良センター 長野支場

(<http://www.nlbc.go.jp/nagano/>)



研修日： 2011年2月23日  
場所： 長野県佐久市新子田

### 研修内容

- (実習)去勢
- (実習)ヤギ舎の掃除
- (実習)人工授精
- (実習)削蹄
- (講義)機械搾乳

日本唯一であるヤギの国立研究農場において専門家から私がリクエストした内容の研修を実習を含めて受講することができました。実習における去勢と人工授精では家畜動物としての現実を目の当たりにしました。

# 山羊 (ヤギ)

## ● 新聞記事

田舎で働き隊の研修生として  
地元紙の取材を受けました。



岡谷市民新聞(2月2日)



長野日報(3月1日)

# 区民農園

## ● 区民農園直売所の企画 直売所の視察(午前)



愛来里(あぐり)



林弘旦さん圃場  
(栗20年生)



素材屋

視察日

2011年2月4日

視察場所(午前)

上伊那郡箕輪町

愛来里(あぐり) 町営

素材屋 民営

林弘旦さん圃場(栗20年生)見学

愛来里は品数は少なかったがPOPや音楽などに気を使っていた。

素材屋は品数は豊富で地域の方のニーズを的確に捉えていたため、お客さんも多かった。

20年生の栗畑は樹形が立派で、大きく、樹間が余裕を持ってたられていたので見事でした。

# 区民農園

## ● 区民農園直売所の企画 直売所の視察(午後)

### 視察場所(午後)伊那市

とれたて市場 市営  
グリーンファーム 民営



とれたて市場



グリーンファーム



とれたて市場のヤギ



グリーンファームのヤギ

とれたて市場が位置するみはらしファームはダチョウやヤギ、馬などと触れ合え、公園やいちご狩り施設もあり、宿泊施設や温泉、レストランや様々な体験設備を備えた農業公園でした。

グリーンファームはヤギ、鹿、馬、ダチョウ、クマ、サルがいて視察で回った直売所の中では最も動物の種類が多かったです。

品数はとても豊富で近所の方々の買い物や農家の買い物ニーズに幅広く対応した直売所でした。

# 区民農園

## ● 区民農園直売所建設 計画づくり

長野県地域発 元気づくり  
支援金申請書作成

作業期間：1月31日～2月3日

### 申請事業名

帰農で明日のむらづくり事業

### 申請事業の実施内容

#### 直売所設置

農作業を通じた子供達の自立支援  
育苗ハウス設置と養蚕復活準備  
区民農園普及

直売所の設置にあたって監視カメラ  
設置を提言しました。

申請にあたり岡谷市役所を訪問した  
り直売所の視察やマイファームの講  
義を受けたりといろいろなことを学  
ぶことができました。

申請書



# 区民農園

## ● 研修③

(株)マイファームラボ

(<http://www.myfarm.co.jp/>)

取締役 谷則男さん

日時：2月8日

場所：三沢区コミュニティ施設

会社情報

資本金 2800万円

前年度売上 1億2千万円

講義内容

市民農園のマネジメント



ビジネスモデルとしてはよかったのだが三沢区とはモデルケースが違うと感じました。

なぜなら、農園の前提が20万以上の都市に限られているため5万人の岡谷市では難しいと感じました。

住民から提起された課題については谷さん自身も解決するのは難しいと返答していた。

# 区民農園

## ● 荒廃・遊休農地の復元



重機での開墾、木の根の排除作業

作業日：3月3日

場所

長野県岡谷市川岸上4丁目近辺の  
区民農園

面積

約600㎡

実施作業

重機での開墾

重機での土起こし

木の根の排除

不法投棄された缶やゴミの排除

重機で掘り起こした木の根や投棄された缶ゴミを一つづつ手作業で除きました。

# 生活改善資料

## ● 研修④

谷中編集工房

谷中 由利子さん

研修日：2月16～18日

### 講義内容

図書整理の基本的知識

資料内容の検討

整理方法の策定(エクセルを使用した  
資料リスト化と書架管理方法)



資料内容の検討

# 生活改善資料

- 書庫の清掃、資料の移動
- 資料管理とバックアップシステム構築
- ラベル印刷

作業期間：2月7～8日 14～22日

今回の活動では書庫の清掃と運用方法までを検討することができた。  
また、バックアップシステムまで構築できたのでデータの損失によるリスクを軽減することができた。

ID	名称	日付	ステータス
0001	資料管理システム構築	2023/02/07	完了
0002	バックアップシステム構築	2023/02/08	完了
0003	ラベル印刷	2023/02/07	完了
0004	書庫の清掃	2023/02/08	完了
0005	資料の移動	2023/02/07	完了

資料管理システムのリスト

# 住民参加型ワークショップ

- 諏訪の風土を生かした地域づくりフォーラム  
打ち合わせに参加  
(1月26日、3月4日)
- A3パネル用Word作成  
(2月28日～3月2日)

1日目には講演者の選定やテーマ決めの打ち合わせをしました。  
この時、初めて三澤勝衛を知りました。

2日目には当日の運営方法や会場の設置方法、必要資材の確認をしました。



A3パネル用Word

# 住民参加型ワークショップ

- 林弘旦さん(ガイド)と  
地域点検の実践

日付：2月3日

2時間程度、三沢区内を散策しながら木や川の説明を受けました。水田にとって川の重要性を認識しました。各家々には小さいながらも畑を持っていました。



100年前の三沢区の地図



三沢区からの景色



荒れた農地



区民農園

# 住民参加型ワークショップ

- JICA

アフリカ地域「生活改善  
アプローチによる農村  
コミュニティ開発」

日付：2月14～15日

場所：JICA筑波

1日目午前

ビジョニングワークショップの  
講義とJICA筑波周辺の地域点検

1日目午後

5～6人のグループで地域点検  
地図の作成  
グループでの結果発表



地域点検の風景

ポイントの落とし込みと結果発表

# 住民参加型ワークショップ

- JICA

アフリカ地域「生活改善  
アプローチによる農村  
コミュニティ開発」

2日目午前

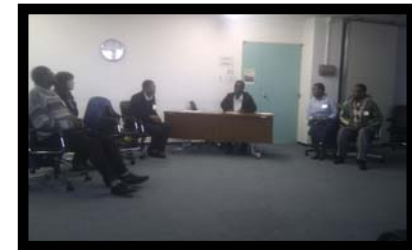
将来ビジョンを描くアクティビティ

2日目午後

演劇ワークショップによる課題解決

アフリカ系英語は聞き取りづらく慣れるのに時間が必要でした。

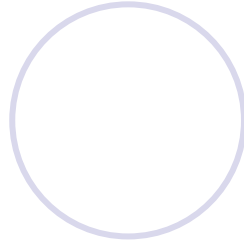
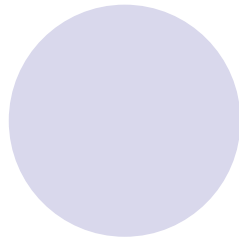
言葉以外の方法でもコミュニケーションがとれました。



ゲームを通して打ち解けてきた様子

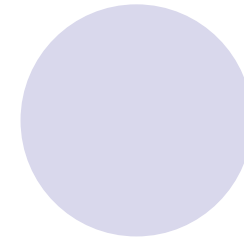
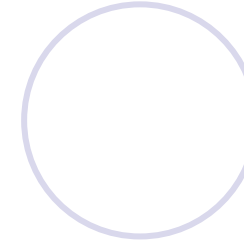
演劇のシナリオ作成と演劇の様子





# 味

# 噌



## ● 研修⑤

### 林邦子さん

日付：2月21日

場所：農と人とくらし研究センター

### プロフィール

30年間 長野県生活改良普及員

### 講義内容

農産物加工(味噌、ジャム、燻製)の製法



テキストの一部

深い知識力がありいろいろな質問に答えていただきました。

話の内容も定量的で分かりやすく客観的でした。

味噌だけでなくジャムや燻製もこれからの活動に活かせると感じています。

# 味噌

## ● 味噌作り



もろぶた



日時：2月24～3月3日

場所：片倉糰店

### 作業内容

加工所の掃除  
コメを前日に仕込む  
コメを蒸す  
麴菌の種付け  
手入れ  
大豆を前日に仕込む  
大豆を炊く  
大豆を潰す  
大豆に塩と麴を混ぜる  
味噌樽に仕込む  
後片付け

全ての樽や桶は木でできており塩や味噌が付いていました。  
樽を使う直前に洗うことで長期利用ができるのだそうです。  
種付けする麴菌が少なくて驚きましたが、秘密は麴菌が残っている「もろぶた」にあるように思いました。